

《担当者名》姫嶋瑞穂（薬）

【概要】

近年、医療を取り巻く環境は大きく変化し、それに伴い医療関連法規や政策の流れが加速している。法律と聞くと難しくなじみにくいイメージを持ってしまいがちであるが、初めて法学を学ぶ受講生には法律に対する興味や関心をもってもらうため、身近な出来事・ふとした疑問を出発点として、生命・医療に関わる身近なテーマを取り上げる。法の仕組みを理解するだけでなく、実際の医療現場での問題を学ぶことができるよう、『法』と「生命」「医療」との関係について改めて考えてみる、これが本講義のコンセプトである。人はこの世に生まれてから死ぬまで法や法律と何らかの形で密接に関わっているため、「法学」を学んでその諸原則を理解するとともに、医療に従事する専門職として法的思考(倫理的思考)を身につける。

【学修目標】

1. 現代医療の法的・倫理的諸問題について法的思考方法を学ぶことで医療に従事する専門職として法律学を活用できる。
2. 法を学ぶことを通じて、社会に対する広い視野と深い洞察力を身につける。
3. 現代社会における法の役割について、自分の意見を交えながら適切に説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医療と法 Part 1	医療に関する法の基礎知識と法制度の基本的しくみについて考える。 教科書p1～p8 p135～p139	姫嶋瑞穂
2	医療と法 Part 2	医療施設と医療提供体制の確保について考える。 教科書p23～p51	姫嶋瑞穂
3	医療情報の保護と利用	医療従事者の守秘義務と個人情報保護法について考える。 教科書p56～p64	姫嶋瑞穂
4	私の命はだれのもの？	患者の希望に医療従事者はどこまで従わなければならないのか。患者の権利と医療従事者の義務・治療上の特権をめぐる法律問題について考える。 教科書p19～p21 p139～p150	姫嶋瑞穂
5	生命の神秘への挑戦 Part 1	コピーされる命が可能となる遺伝子技術の発展とクローン人間をめぐる法律問題について考える。 教科書p240～p252	姫嶋瑞穂
6	生命の神秘への挑戦 Part 2	生命誕生への介入をめぐる生殖補助医療の問題について考える。 教科書p178～p187	姫嶋瑞穂
7	選ぶ技術・選ぶ人	出生前診断と障害児の「生まれる権利」について考える。 教科書p188～p194	姫嶋瑞穂

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
8	産まない権利・生まれる権利	人工妊娠中絶をめぐる法律問題について考える。 教科書p190～p194	姫嶋瑞穂
9	性転換手術はタブーか？	「さまよえるジェンダー」といわれる性転向症に悩む人々をめぐる生命倫理と法律との抵触について考える。	姫嶋瑞穂
10	人の死をめぐるジレンマ Part1	脳死・臓器移植問題が私たちに問いかけるものとはどんなことなのか？移植医療をめぐる議論について考える。 教科書p181～p188 p193～p198	姫嶋瑞穂
11	人の死をめぐるジレンマ Part2	生体移植と臓器売買に関する問題について考える。 教科書p3～p7 p195～p209	姫嶋瑞穂
12	人の死をめぐるジレンマ Part3	「自分らしい生を全うする」ためにはどうしたらいいのか？病名告知とインフォームド・コンセントに関する問題について考える。 教科書p19～p22 p151～p154	姫嶋瑞穂
13	人の死をめぐるジレンマ Part4	「自分らしく、人間らしく」死にたいと思うか？終末期医療と安楽死・尊厳死をめぐる法律問題について考える。 教科書p19～p22 p155～p177	姫嶋瑞穂
14	医療事故発生！責任はどう追及される？	医療事故をめぐる具体的事案を検討することで医療従事者の法的責任について考える。 教科書p9～13 p114～p134	姫嶋瑞穂
15	発展的学習のために	本講義全体の内容について総括し、医療をめぐる法的問題の解決策と残された課題について考える。	姫嶋瑞穂

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（100％）

【教科書】

姫嶋瑞穂『医事法学入門』（成文堂、2019年1月）

【学修の準備】

予習として、教科書の該当箇所を読んでおくこと（60分）。

復習として、教科書・講義ノートを活用し、授業中に配布する確認問題を解いて理解を深めること（100分）。

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

（DP5）多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。